



上尾市立大石中学校 令和8年度

第2学年シラバス

SyllABus 2026



AGEO MUNICIPAL OHISHI JUNIOR HIGH SCHOOL

大石中学校では、生徒の皆さんが1年間を通して何を学び、どのように授業が進められ、どのように評価されるかを見通せるように、各教科ごとにシラバスが作成されています。

【 シラバスの項目 】

1 教科の目標

1年間で身に付けてほしい資質・能力を「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理されています。

2 授業に関する注意事項

教科書や副教材、資料集等の「使用教材」、授業に必要な「持ち物」、「学習の進め方」が記載されています。

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

- ・月ごと、学期ごとに学ぶ単元・内容が示されています。
- ・観点ごとの評価規準を示し、それがどのような方法で評価されるかが明示されています。

【 学習評価（成績の付け方） 】

■ 観点別学習状況評価の各観点

「知識・技能」

学習を通じた知識及び技能の習得状況について評価します。

「思考・判断・表現」

知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

■ 観点別学習状況の評価と評定

観点別学習状況		評 定	
A○	「十分満足できる」状況と判断されるもののうち、特に高い程度のもの	5	「十分満足できる」状況と判断されるもののうち、特に高い程度のもの
A	「十分満足できる」状況と判断されるもの	4	「十分満足できる」状況と判断されるもの
B	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの	3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
C○	「努力を要する」状況と判断されるもの	2	「努力を要する」状況と判断されるもの
C	一層「努力を要する」状況と判断されるもの	1	一層「努力を要する」状況と判断されるもの

■ 観点別学習状況評価の組合せの代表例と評定の基準例 (A○=5点 A=4点 B=3点 C○=2点 C=1点とした場合)

組合せの代表例		合計点	評 定
A○A○A○	(5点+5点+5点)	15点	5
A○A○A	(5点+5点+4点)	14点	
A○A○B	(5点+5点+3点)	13点	
A A A	(4点+4点+4点)	12点	4
A○B B	(5点+3点+3点)	11点	
A B B	(4点+3点+3点)	10点	
B B B	(3点+3点+3点)	9点	3
B B C○	(3点+3点+2点)	8点	
B C○C○	(3点+2点+2点)	7点	
C○C○C○	(2点+2点+2点)	6点	2
C○C○C	(2点+2点+1点)	5点	
C○C C	(2点+1点+1点)	4点	
C C C	(1点+1点+1点)	3点	1

※1・2年生の技術・家庭は、前期・後期制のため、1学期に評価を記載しません。

【参考資料】

中学校学習指導要領 平成29年3月告示 文部科学省
 中学校学習指導要領解説 平成29年3月告示 文部科学省
 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 令和2年3月 文部科学省 国立教育政策研究所教職課程研究センター
 「学習評価の在り方ハンドブック」 令和2年6月 文部科学省 国立教育政策研究所教職課程研究センター
 埼玉県中学校教育課程指導・評価資料 令和3年3月 埼玉県教育委員会

国語【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書「国語2」（光村図書） ○副教材「たびたび漢字練習帳2」 <li style="padding-left: 20px;">「新しい文法ワーク」 <li style="padding-left: 20px;">「国語便覧」 <li style="padding-left: 20px;">「積み上げ国語2年」 	持ち物等	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 ○ファイル ○漢字・文法ワーク ○国語便覧 ○国語辞典
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や表現の仕方を理解させるために、効果的な言語活動を行います。 ・漢字練習や小テストを実施し、語句の知識を身につかせます。 ・根拠を明確にし、筋道を立てて自分の考えをまとめる、発表する等の学習活動を展開します。 ・ワークシートを活用し重点的に書く活動を取り入れ自分の考えを表現する学習活動を展開します。 ・新授業六束を徹底して指導し、授業規律を確立させます。 ・デジタル教科書などの視覚的教材を活用し、指導の工夫を図り、学習意欲を喚起させます。 		

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準		評価方法
4	・広がる学びへ	知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期テスト ・小テスト
5	・多様な視点から			
6	・硬筆 ・言葉と向き合う			
7	・情報×SDGs	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・発言やスピーチ ・聞き取りテスト ・ワークシート ・定期テスト ・小テスト
9	・いつも本はそばに ・人間のきずな			
10	・論理を捉えて ・いにしへの心を訪ねる			
11	・価値を語る	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしてたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・ワークシート ・授業態度
12	・いつも本はそばに ・書き初め			
1	・表現を見つめる			
2				
3	・学びを深める			

社会【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 授業に関する注意事項

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 新編 新しい社会 地理（東京書籍） 新編 新しい社会 歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院） ○授業プリント（担当教員作成） ○カラープリント（浜島書店）※定期テスト前に配布 	持ち物等	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書（地理・歴史は時期による） ○地図帳 ○ファイル（プリントをとじ込む） ○筆記用具 ○学習者用端末
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容の復習（口頭、小テスト、対話等） ・本時の学習課題の確認と予想（口頭、学習プリント等） ・教科書の音読 ・必要な知識・技能の獲得（授業プリント、学習者用端末、対話等） ・知識・技能を活用した思考・判断・表現力の育成（授業プリント、学習者用端末、対話等） 		

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準		評価方法
4	【地理分野】 第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的特色 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方 3節 近畿地方 4節 中部地方 5節 関東地方 6節 東北地方 7節 北海道地方 第4章 持続可能な地域の在り方	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業における口頭発表等
思考・判断・表現			社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業における口頭発表 ・学習者用端末による文章表現
		主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・各課題への取組 ・自主学習への取組 ・授業における発表 ・学力向上への取組
1			【歴史分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と対外政策 ・産業の発達と幕府政治の動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課題への取組 ・自主学習への取組 ・授業における発表 ・学力向上への取組
2				
3		<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業 		

数学【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	持物等
○教科書 ○ワーク	○筆記用具 ○ノート ○定規 ○三角定規 ○コンパス
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの小テストにより、計算力の向上、基礎基本の定着を目指します。 ・ 問題演習の時間を多くとり、自力解決できるようにします。 ・ 式、表、グラフなどの様々な表現様式を用いて、事象の変化の様子や特徴を捉え、思考力・判断力・表現力を育成します。 ・ 問題集やノート、振り返りシートを定期的に評価し、学習習慣の定着を図ります。 ・ ICTを活用し、指導の工夫を図り、意欲を向上させます。 ・ 班での話し合い活動を積極的に取入れ、理解を深める時間を設けます。

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準	評価方法
4	1章 1節式の計算	知識・技能	授業中の発表・取り組み ワーク・ノート テストの得点 小テストの得点 単元ごとの振り返りシート
5	2節文字式の利用		
6	2章 1節連立方程式	思考・判断・表現	授業中の発表・取り組み ワーク・ノート テストの得点 小テストの得点 解き方の工夫 単元ごとの振り返りシート
7	2節連立方程式の利用		
9	3章 1節一次関数とグラフ	主体的に学習に取り組む態度	授業中の発表・取り組み ワーク・ノート テストの得点 単元ごとの振り返りシート テスト直し 説明力 (解き直しレポート)
10	2節一次関数と方程式 3節一次関数の利用		
11	4章 1節平行と合同 2節図形の性質の利用 3節証明		
12	5章 1節三角形		
1	2節四角形 3節図形の性質と証明の利用		
2	6章 1節場合の数と確率 2節確率の利用		
3	7章 1節箱ひげ図		

理科【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 ○理科便覧	持ち物等	○教科書 ○ノート ○便覧 ○ファイル	○ワーク ○クロームブック
学習の進め方	<p>○観察・実験の仮説（予想）を立て、結果や記録などから筋みちを立てて考察し、規則性を見い出したり、比較したりして、自分の考えをまとめたりする。</p> <p>○基礎・基本の確実な定着のために、小テスト、プリント、問題集等で演習問題を行う。</p>			

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準		評価方法
4	・化学変化と物質の成り立ち	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の技能 ・レポート ・技能テスト ・定期テスト ・小テスト ・提出物
5	・いろいろな化学変化			
6	・化学変化と物質の質量			
7	・生物の細胞と個体	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・定期テスト ・小テスト ・提出物
9	・植物の体のつくりとはたらき			
10	・動物の体のつくりとはたらき			
11	・電流と電圧	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への態度や姿勢 ・ポートフォリオ ・レポート ・小テスト ・振り返りシート ・提出物
12				
1	<ul style="list-style-type: none"> ・電流と磁界 ・静電気と電流 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・気象の観測 ・空気中の水の変化 ・低気圧と天気の変化 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の気象 ・大気の躍動と恵み 			

音楽【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書（中学生の音楽2・3年の上、下と器楽） ○合唱曲集 ○アルトリコーダー	持ち物等	○教科書（中学生の音楽2・3年の上、下と器楽） ○アルトリコーダー ○ファイル ○合唱曲集
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容の復習 ・本時の学習内容と目標の確認 ・学習内容の理解、取組、練習 ・まとめ、振り返り 		

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準		評価方法
4	・校歌	知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・定期テスト ・実技テスト
5	・合唱			
6	・鑑賞「フーガ ト短調」 ・アルトリコーダー ・「夏の思い出」			
7		思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・定期テスト ・ワークシート ・発表内容
9	・合唱コンクールに向けて ①学年合唱曲			
10	②クラス曲			
11	・合唱コンクール本番	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・定期テスト ・授業中の取組 ・授業の振り返り
12	・鑑賞「交響曲第5番ハ短調」 ・アルトリコーダー			
1	・鑑賞「オペラ アイダ」 ・アルトリコーダー			
2	・卒業式に向けての合唱練習			
3				

美術【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書「美術2・3上下」(日本文教出版) ○資料集「美術資料」(秀学社)	持ち物等	○教科書 ○資料集 ○スケッチブック ○ファイル ○鉛筆、絵の具セット
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 対象を深く感じ取る力や想像力を一層深め、考えること、心の世界を形や色彩などでより深く表現していきます。 自然の造形、美術作品や文化遺産などへの理解や見方を深めていきます。 独創的・総合的な見方や考え方を培い、形や色彩の特徴などを基に対象のイメージをとらえていきます。 自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫し、制作の手順を考え、見通しを持って制作していきます。 作品などに対する思いや考えを説明し合い、見方や感じ方を広げていきます。 		

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準		評価方法
4	・オリエンテーション	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品 授業中の取組 提出物
5 6	・抽象画 ～心のイメージを形にしよう！～			
7	・《夏休み課題》 地域への思いを描く【風景画】	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> 作品 授業中の取組 コンセプトシート 提出物
9 10	・ポップアップカード【立体】 ～相手がもらって嬉しい・笑顔になるカードを作るには？～			
11				
12	・COOL JAPAN ～自分が漫画のキャラクターになったら！？～	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 作品 授業中の取組 提出物
1	・パッケージデザイン ～売れるパッケージはどんな工夫がある？～			
2				
3				

保健体育【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ○ステップアップ中学体育（大修館書店） ○最新中学校保健体育（大修館書店） 	持ち物等	<ul style="list-style-type: none"> ○実技の教科書（ステップアップ） ○ファイル ○ハチマキ ○筆記用具 ○保健の教科書 ○保健ノート
学習の進め方	<p>《基本的な授業の進め方》 整列、あいさつ→準備運動→感覚づくり運動→主運動→まとめ ※単元によって異なる場合もあります。 《活動場所》 体育館、校庭、武道場、プール</p>		

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準	評価方法
4	○ガイダンス	知識・技能 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	・観察 ・技能テスト ・単元テスト
5	○体育理論		
6	○体づくり運動【体育祭】 ○陸上競技【短距離・リレー】 【ハードル走】		
7	○水泳【クロール、平泳ぎ】		
9	○ダンス 【現代的なリズムのダンス】		
10	○器械運動【マット運動】 【跳び箱運動】		
11	○球技【バスケットボール】 【ハンドボール】		
12	○武道【柔道 or 剣道】 ○球技【ソフトボール】	思考・判断・表現 自己や仲間の議題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	・観察 ・学習カード
1	○球技【サッカー】 ○陸上競技【長距離走】		
2	○球技【サッカー】 【バレーボール】		
3	※保健は随時行います。	主体的に学習に取り組む態度 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	・出席状況（欠席、見学等） ・提出物 ・観察

技術・家庭〔技術分野〕【第2学年】

1 技術分野の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 「技術・家庭〔技術分野〕」（開隆堂）	持ち物等	○教科書 ○ファイル ○筆記用具 ○クロームブック ○体育着・ジャージ（作業時）
学習の進め方	<p><授業スタイル> Web フォーム作成ツール〔Google フォーム〕を活用した小テスト（前時の復習、まとめプリント持込可）→ワークシートと授業支援クラウド〔スクールタクト〕を活用した学習内容の資料提示・説明・協働学習・作業等→まとめプリントの作成を基本サイクルとする。</p> <p><場 所> 教室を基本とするが、実習や作業時は木工室で行う。</p>		

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準		評価方法
10	・生活や社会と材料と加工の技術	知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解している。	・定期テスト ・小テスト ・観察 ・作品 ・レポート ・ワークシート
11	・問題解決の手順や工夫			
12	・作業の安全な進め方			
1	・設計の仕方	思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・定期テスト ・観察 ・作品 ・レポート ・ワークシート
2	・図や表の読み取り方			
3	・設計に沿った製作			
2	・社会の発展と材料と加工の技術	主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・まとめプリント
3	・学習のまとめ			
1	・自動化の技術			
2	・計測・制御システムの技術			
3	・計測・制御システムの設計のしかた			
1	・設計に沿った計測・制御システムの製作			
2	・社会の発展と情報の技術			
3	・学習のまとめ			

技術・家庭〔家庭分野〕【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 ○ワーク	持ち物等	○筆記用具 ○ファイル ○給食セット	○教科書 ○ワーク ○ICT 端末
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の把握（自ら課題を発見する） ・説明（教科書やノートを使用し、使用方法やはたらきを理解する） ・取組（実習、グループ活動） ・まとめ（自己評価、学級評価を行う） 			

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準	評価方法
4	・家庭科分野ガイダンス	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業中の発表・取り組み ・実習技能 ・グループ活動 ・提出物
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食生活</div> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と食習慣 		
6	・中学生に必要な栄養を満たす食事	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業中の発表・取り組み ・実習技能 ・グループ活動 ・提出物
7	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな食品とその選択 ・日常食の調理 肉の調理 魚の調理 野菜の調理 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・献立づくり ・地域の食文化 ・持続可能な食生活 	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・授業中の発表・取り組み ・実習技能 ・グループ活動 ・提出物

外国語【第2学年】

1 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 授業に関する注意事項

使用教材	○教科書 Sunshine English Course 2 ○ノート ○ワーク ○ファイル	持ち物	○教科書 Sunshine English Course 2 ○ノート ○ワーク ○ファイル
学習の進め方	<p>○各課の英文と新出の単語・連語の意味をあらかじめノートに記入しておく。</p> <p>○授業中の発音、発言は大きな声でしっかりとする。</p> <p>○授業で習った内容はワークや宿題を活用して、その日のうちに復習する。</p> <p>○定期試験までに、学習している文法項目を整理して、まとめておく。</p> <p>○定期試験の後には間違えた箇所を中心に必ず復習をする。</p>		

3 授業計画、評価の観点とその評価規準及び評価方法

月	学習活動	評価の観点・評価規準	評価方法
4	Program1 ・未来表現 be going to～ /will ・動名詞	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・音読の取り組み ・ワークシート
5	Program2 ・接続詞 that/ when/ if Program3 ・不定詞 名詞的用法 副詞的用法 形容詞的用法		
6	Our Project ・海外でヒットするラーメンのCMを作ろう！		
7	Reading ・The Three Dolls Program4 ・不定詞 感情の原因 ・助動詞 must / have to	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・パフォーマンステスト ・プレゼンテーション ・英作文
9	Program5 ・～の仕方 how to ～ ・～に見える look +形容詞 第4文型 動詞+人+もの		
10	Program6 ・比較級 ～er / more ～ ・最上級 ～est/ the most ・比較 as～as		
11	Our Project ・日本のおすすめスポットを紹介しよう	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・協動的な学びに対する積極性 ・コミュニケーション活動の継続性 ・学習に対する積極性
12	Reading ・Friendship beyond time and Borders		
1	Program7 ・比較級 like better than ・最上級 like ～ the best ・teach 人 how to ～		
2	Program8 ・受動態 be + 過去分詞 ・be + 過去分詞 + by ・受動態の慣用表現		
3	Our Project ・My Hero の魅力を伝えよう Reading ・Apollo13		